



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月30日

上場会社名 フューチャー株式会社
 コード番号 4722 URL <https://www.future.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 金丸 恭文
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 中島 由彦

TEL 03-5740-5724

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	33,879	17.7	4,883	19.7	3,199	1.1
2018年12月期第3四半期	28,794	8.7	4,080	27.9	3,164	31.4

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 2,868百万円 (△38.1%) 2018年12月期第3四半期 4,635百万円 (103.6%)

	1株当たり四半期純利益
	円 銭
2019年12月期第3四半期	71.55
2018年12月期第3四半期	70.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第3四半期	37,698	29,319	77.8	655.66
2018年12月期	37,240	28,108	75.2	626.53

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 29,319百万円 2018年12月期 28,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	15.00	—	17.00	32.00
2019年12月期	—	18.00	—		
2019年12月期(予想)				21.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年12月期の期末配当金21円の内訳につきましては、普通配当18円、創業30周年記念配当3円になります。

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,500	8.2	6,400	9.9	4,355	6.4	97.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	47,664,000 株	2018年12月期	47,664,000 株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	2,946,587 株	2018年12月期	2,959,049 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	44,708,613 株	2018年12月期3Q	44,705,065 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第3 四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
受注の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3 四半期連結累計期間の売上高は33,879百万円(前年同期比17.7%増)、営業利益は4,883百万円(同19.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,199百万円(同1.1%増)となりました。

当第3 四半期累計期間におきましてはITコンサルティング&サービス事業において、フューチャーアーキテクト株式会社(フューチャー株式会社のテクノロジー部門を含む)をはじめとする各社の業績が好調であったことから、セグメントの売上高・営業利益が前年同期比で増加しました。ビジネスイノベーション事業においても、セグメントの営業赤字が縮小しました。これらにより、当社グループの連結の売上高、営業利益は第3 四半期累計期間において過去最高となりました。

各セグメントの業績については以下のとおりです。

① ITコンサルティング&サービス事業

フューチャーアーキテクト株式会社(フューチャー株式会社のテクノロジー部門を含む)は、ビッグデータやAIを活用した戦略的なIT投資に取り組んでいるアパレル、流通業及びサービス業の売上が増加するとともに、世界最先端の技術を用いたデジタル戦略によりゼロベースで経営変革を行おうとするメディア、不動産及び電鉄といった過去には取引がなかった新規の顧客群からの売上も増加しました。また、営業・融資支援システム「Future BANK」を導入する地方銀行がさらに増加したこともあり、前年同期比で売上高・営業利益とも増加しました。

フューチャーインスペース株式会社は、昨年に引き続き、フューチャーアーキテクト株式会社が構築したプロジェクトの保守・運用案件が拡大したことや同社独自の開発案件が増加したことにより、前年同期比で売上高・営業利益とも増加しました。

Future One 株式会社は、上場会社子会社等の中堅上位企業へのオリジナルの販売管理パッケージソフト「InfiniOne」を中心とした売上が増加し、消費税軽減税率に関する開発もあったことから、売上高・営業利益が増加しました。

株式会社ワイ・ディ・シーは、前年同期において品質情報解析ソフトウェア「YDC SONAR」に関する大型案件があったことから、当第3 四半期累計期間は、売上高・営業利益が減少しました。

この結果、本セグメントの売上高は28,067百万円(前年同期比19.4%増)、営業利益は4,658百万円(同15.0%増)となりました。

② ビジネスイノベーション事業

株式会社e SPORTSは、自社ブランドのアウトドア・ワゴンやフィットネス器具及びナショナルブランドのアウトドア関連商品の販売が好調であったことから、売上高は前年同期比で増加しました。また、取引先との関係強化による戦略的な仕入れのため、粗利率が向上し、営業損益は前年同期比で改善して営業黒字となりました。

コードキャンプ株式会社は、個人向けのオンライン・プログラミング講座の受注高が毎月順調に増加していることにより、売上高と営業利益が前年同期比で増加しました。

ライブリッツ株式会社は、新規のプロ野球球団のチーム強化システムの構築を行ったほか、これとは別のプロ野球球団のファンクラブ・ECサイトや株式会社e SPORTSのECサイトを構築したことにより、前年同期比で売上高や営業利益が増加しました。

東京カレンダー株式会社は、上半期においては、雑誌やネットの広告収入が予定を下回り、営業赤字を計上しましたが、当第3 四半期(3ヶ月間)は、広告収入が第1 四半期や第2 四半期を上回るとともに、コストの削減に努めたことより、営業黒字となりました。第3 四半期累計期間では「東カレデート」等のサービスの売上が増加したことにより、売上高が前年同期比で増加しましたが、営業赤字が増加しました。

この結果、本セグメントの売上高は5,878百万円(前年同期比9.8%増)、営業損失は53百万円(前年同期は176百万円の損失)となり、営業損益は前年同期に比べ改善しました。

注) 上記のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しておりません。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和元年7月30日の第2 四半期決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年12月31日)	当第3 四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,984,071	13,296,504
受取手形及び売掛金	6,234,600	6,922,981
商品及び製品	847,865	1,099,699
仕掛品	168,574	93,729
未収入金	182,123	63,988
その他	1,218,228	1,363,650
貸倒引当金	△3,007	△3,008
流動資産合計	22,632,457	22,837,545
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,375,460	1,714,633
減価償却累計額	△882,265	△946,729
建物及び構築物 (純額)	493,194	767,903
土地	855	855
その他	2,505,394	2,818,490
減価償却累計額	△2,024,762	△2,178,576
その他 (純額)	480,631	639,914
有形固定資産合計	974,681	1,408,673
無形固定資産		
のれん	40,516	32,927
ソフトウェア	1,707,624	1,736,052
顧客関連資産	832,000	676,000
その他	3,316	2,801
無形固定資産合計	2,583,458	2,447,781
投資その他の資産		
投資有価証券	9,257,039	9,338,658
敷金及び保証金	1,439,195	1,432,623
繰延税金資産	84,777	7,814
その他	290,373	245,787
貸倒引当金	△21,441	△20,252
投資その他の資産合計	11,049,944	11,004,632
固定資産合計	14,608,084	14,861,086
資産合計	37,240,542	37,698,631

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年12月31日)	当第3 四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,285,569	1,383,260
1年内返済予定の長期借入金	161,449	7,592
1年内償還予定の社債	52,000	8,000
未払金	1,129,613	920,358
未払法人税等	1,093,327	478,652
賞与引当金	210,913	856,843
品質保証引当金	11,182	63,041
プロジェクト損失引当金	26,058	176,619
その他	2,178,516	2,099,456
流動負債合計	6,148,629	5,993,825
固定負債		
社債	92,000	—
長期借入金	222,674	4,442
資産除去債務	354,965	407,273
繰延税金負債	2,233,019	1,833,077
その他	80,831	140,581
固定負債合計	2,983,490	2,385,374
負債合計	9,132,120	8,379,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,421,815	1,421,815
資本剰余金	2,507,763	2,525,165
利益剰余金	20,239,578	21,873,967
自己株式	△1,499,778	△1,493,579
株主資本合計	22,669,379	24,327,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,438,242	4,979,348
繰延ヘッジ損益	△1,220	597
為替換算調整勘定	△97,582	12,116
その他の包括利益累計額合計	5,339,439	4,992,062
非支配株主持分	99,602	—
純資産合計	28,108,422	29,319,431
負債純資産合計	37,240,542	37,698,631

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3 四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成31年1月1日 至 令和元年9月30日)
売上高	28,794,172	33,879,841
売上原価	17,073,043	20,126,358
売上総利益	11,721,128	13,753,482
販売費及び一般管理費		
役員報酬	311,949	356,929
給料及び賞与	2,876,074	3,182,596
研修費	310,292	280,060
研究開発費	256,954	332,579
減価償却費	269,305	284,750
採用費	255,174	341,713
その他	3,361,166	4,091,243
販売費及び一般管理費合計	7,640,917	8,869,873
営業利益	4,080,211	4,883,609
営業外収益		
受取利息	438	1,053
受取配当金	104,662	74,737
持分法による投資利益	60,192	42,951
為替差益	870	5,975
その他	4,461	2,589
営業外収益合計	170,625	127,308
営業外費用		
支払利息	5,472	5,004
営業外費用合計	5,472	5,004
経常利益	4,245,364	5,005,912
特別利益		
訴訟関連収入	809,510	—
持分変動利益	100,434	—
段階取得に係る差益	19,482	—
特別利益合計	929,427	—
特別損失		
為替換算調整勘定取崩損	—	175,312
持分変動損失	—	1,848
無形固定資産除去損	315,274	—
訴訟関連費用	130,000	—
特別損失合計	445,274	177,160
税金等調整前四半期純利益	4,729,516	4,828,752
法人税等	1,515,612	1,612,811
四半期純利益	3,213,904	3,215,940
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,164,414	3,199,109
非支配株主に帰属する四半期純利益	49,489	16,831

(単位:千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成31年1月1日 至 令和元年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,423,541	△458,894
繰延ヘッジ損益	△143	2,110
為替換算調整勘定	△1,875	109,963
持分法適用会社に対する持分相当額	△335	△264
その他の包括利益合計	1,421,186	△347,084
四半期包括利益	4,635,091	2,868,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,585,596	2,851,988
非支配株主に係る四半期包括利益	49,494	16,867

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3 四半期連結累計期間(自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	ITコンサルティング&サービス事業	ビジネスイノベーション事業	計				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	23,459,115	5,335,056	28,794,172	—	28,794,172	—	28,794,172
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	54,017	18,088	72,106	—	72,106	△72,106	—
計	23,513,133	5,353,145	28,866,278	—	28,866,278	△72,106	28,794,172
セグメント利益又は損失(△)	4,050,665	△176,729	3,873,936	726	3,874,662	205,548	4,080,211

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有価証券投資・保有・運用事業等を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去及び持株会社(テクノロジー部門を除く)の収益並びに費用の額であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第3 四半期連結累計期間(自平成31年1月1日 至令和元年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	ITコンサルティング&サービス事業	ビジネスイノベーション事業	計				
売上高							
(1)外部顧客への売上高	28,029,361	5,850,480	33,879,841	—	33,879,841	—	33,879,841
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	37,975	27,653	65,629	—	65,629	△65,629	—
計	28,067,337	5,878,133	33,945,471	—	33,945,471	△65,629	33,879,841
セグメント利益又は損失(△)	4,658,595	△53,210	4,605,385	1,504	4,606,889	276,719	4,883,609

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有価証券投資・保有・運用事業等を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去及び持株会社(テクノロジー部門を除く)の収益並びに費用の額であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注の状況

(単位：千円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成31年1月1日 至令和元年9月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ITコンサルティング&サービス事業	26,164,145	12,326,780	27,684,440	11,565,937
ビジネスイノベーション事業	1,182,690	311,370	1,313,316	362,381
合計	27,346,835	12,638,150	28,997,757	11,928,319

※前第3四半期連結累計期間の受注高及び受注残高の数値について修正を行っております。

区分	第2四半期連結会計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)		当第3四半期連結会計期間 (自令和元年7月1日 至令和元年9月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ITコンサルティング&サービス事業	7,867,123	11,378,484	9,700,736	11,565,937
ビジネスイノベーション事業	361,594	317,498	497,397	362,381
合計	8,228,718	11,695,983	10,198,134	11,928,319